

第17回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催：一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

2015年は、戦後70年、日韓国交正常化から50周年という節目の年です。しかし、日韓関係は、歴史認識にはじまり竹島(独島)問題、「慰安婦」問題、朝鮮半島出身者の「旧民間人徴用工」をめぐる裁判などをめぐり政治的対立がつづいています。それらの影響により日本国内では、在日コリアンをターゲットにしたヘイト・スピーチデモに代表される民族差別行為がまかり通っています。これは明らかに日本の戦後処理の不十分さに起因していると言えます。今年で17回目を迎える当セミナーでは、この節目の年に即したテーマで在日コリアンの歴史から現状まで幅広い講義を設定しました。民族差別をなくし、真の共生社会をめざすため、ともに学び、考えていきましょう。

－ 開 催 要 項 －

【日 程】

春 期 2015年 6月18日(木) 19日(金)

秋 期 2015年 9月18日(金)

冬 期 2016年 3月4日(金)

【会 場】(春期) 貸会議室・貸教室 内海 4階教室

(秋期・冬期) 貸会議室・貸教室 内海 2階教室

東京都千代田区三崎町 3-6-15 東京学院ビル 2階
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定 員】 80人

【参 加 費】 ・受講料 27,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 6,000円(フィールドワーク)

・聴講料 c 4,000円(講義⑧の上映会とトーク)

*KMJ会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

6月12日(金)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。また、受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。お申し込み後、請求書をお送りします。領収書は、当日、資料と一緒に渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただきますこと参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱東京UFJ銀行 生野支店 普通預金 3936599
名 義 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
理事長 仲尾宏

【春期講座】

一日目（6/18）

講義① 戦後70年と在日コリアン

講師 仲尾 宏さん（当センター理事長、京都造形芸術大学客員教授）

戦後の在日コリアンは日本政府、GHQ、そして南北朝鮮のさまざまな思惑なかで振り回されてきました。そこにはどのような問題があったのか、今後どうしていくべきなのかを考えていきたいと思えます。

講義② 「特別永住」とは何か？

－在日コリアンの法的地位の歴史と課題－

講師 鄭 栄恒（チョンヨンファン）さん（明治学院大学准教授）

戦後の在日コリアンの法的地位、なかでもその在留資格はさまざまな政治的思惑のなかで変遷してきました。1991年になってようやく安定的にえられたのが「特別永住」資格でしたが、昨今では「在日特権」というレッテルが貼られ、在日攻撃のターゲットになっています。「特別永住」とは何か、その歴史的背景や現代的課題について明らかにしていきます。

講義③ この社会に差別はいらない

－ヘイト・スピーチ裁判を闘う－

講師 李 信恵（イシネ）さん

李信恵さんはインターネットの世界から日本中に蔓延するヘイト・スピーチにたいして個人で裁判闘争をしています。なぜ裁判するに至ったのか、在日コリアンとしての思いを存分に語っていただきます。

*一日目終了後、懇親会を実施します。参加ご希望の方はお申し込みください。

二日目（6/19）

講義④ フィールドワーク

茨城県日立鉾山と朝鮮学校訪問

案内 張永祚（チャンヨンジョ）さん（茨城県朝鮮人慰霊塔管理員会事務局長）

*コース

水戸朝鮮学校－授業見学、歴史館の見学、教員・子どもたちとの交流を予定しています。

日立鉾山－戦時中、約4000人～5000人の朝鮮人がさまざまな形態で従事していました。どのような歴史的な背景があり、犠牲になられた方の慰霊や賠償はどうだったのか、残された課題とは。戦後70年の今、現地を歩きながら学びたいと思えます。

*フィールドワークについて

① JR水戸駅改札口に9:55集合です。（改札口は一つです）

参考：上野8:30発ときわ53号で水戸に9:49着です。

- ②昼食は水戸朝鮮学校でいただきます。
③少し歩きますので軽装でお越し下さい。
④解散はJR日立駅になりますのでご注意ください。
参考：日立 17:02 発ひたち 22 号で東京に 18:43 着です。

【秋期講座】(9/18)

講 義⑤ 歌で綴る戦後 70 年

－在日コリアン生徒とかかわって－

講 師 古川 正博さん (元教師)

古川さんは大阪市の中学校で長年在日コリアン教育にかかわってこられました。その活動の一環として「おやじバンド」を結成し、日本人と在日との葛藤を乗り越えてこられました。教育実践のお話しをうかがいながら、ギターを片手に歌で戦後 70 年を綴っていただきます。懐かしい歌のオンパレードです。

講 義⑥ 「日韓条約で解決済み」はほんとうか？

－日韓条約 50 年をむかえて－

講 師 李 洋秀 (リヤンス) さん (日韓会談文書全面公開を求める会

事務局次長)

日本政府は一貫して戦後補償は「日韓条約で解決済み」とのスタンスを取っていますが、果たしてそうでしょうか。日韓条約 50 年の今、李先生に現在にも残るさまざまな課題について明らかにしていただきます。

講 義⑦ 戦後 70 年

映画の中で在日はどのように描かれてきたか

講 師 呉 徳洙 (オドクス) さん (映画監督)

1995 年の戦後 50 年に「映画在日」を撮影された呉徳洙監督。あれから 20 年、日本社会も在日社会も大きく変動してきました。戦後 70 年を期に、映画で在日がどのように描かれてきたか、そして 70 年の思いを呉監督に語っていただきます。

【冬期講座】(3/4)

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

[ドキュメンタリー映画上映] (60 分)

『花のようにあるがままに～在日コリアン舞踏家・裴梨花』

[朝鮮舞踊演舞] (15 分)

『アボジをおもって』裴 梨花 (ペリファ) さん (舞踏家)

[トーク] (80分)

裴梨花さん

司会 高敬一

今年6月に在日2世の裴梨花さんを主人公にしたドキュメンタリー映画が完成します。裴さんの背景には強制連行されたアボジへの思いがあります。映画を鑑賞し、裴さんのアボジへの思いが詰まった舞踊を披露していただき、在日2世としての思いを語っていただきます。

【スケジュール】

6 / 1 8 (木)	6 / 1 9 (金)	9 / 1 8 (金)	3 / 4 (金)
9:30 受付開始	9:55 J R 水戸駅集合	9:30 受付開始	13:30 受付開始
9:55 開会	10:00 J R 水戸駅出発	9:55 開会	14:00 講義⑧
10:00 講義①	10:30 水戸朝鮮学校訪問	10:00 講義⑤	17:00 終了
11:50 昼食	12:00 昼食	11:50 昼食	
13:00 講義②	12:45 出発	13:00 講義⑥	
14:50 休憩	13:30 日鉦記念館	14:50 休憩	
15:00 講義③	14:00 一本杉	15:00 講義⑦	
16:50 閉会	14:30 ムクゲの木	16:50 閉会	
17:00 終了	14:45 本山寺	17:00 終了	
	15:30 慰霊塔		
	16:00 出発		
	16:30 J R 日立駅解散		

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
担当 高敬一 (コ・キョンイル) まで
〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
e-mail: kmj@star.odn.ne.jp URL: http://kmjweb.com

第17回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(F A X 0 6 - 6 7 1 7 - 2 7 0 2)

受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

聴講（聴講希望講義番号 _____ ）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、仲尾さんの講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

①戦後70年と在日コリアン	仲尾宏さん
②「特別永住」とは何か？	鄭栄桓さん
③この社会に差別はいらない	李信恵さん
④フィールドワーク 茨城県日立鉱山と朝鮮学校訪問	
⑤歌で綴る戦後70年	古川正博さん
⑥「日韓条約で解決済み」はほんとうか？	李洋秀さん
⑦戦後70年映画のなかで在日はどのように描かれてきたか	呉徳洙さん
⑧ドキュメンタリーの上映とトーク	裴梨花さん

フリガナ		勤務先名	
受講者		担当部署	
住所	〒		
電話	TEL		
F A X	F A X		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		<input type="checkbox"/> 受講 <input type="checkbox"/> 聴講（番号 _____ ）
		<input type="checkbox"/> 受講 <input type="checkbox"/> 聴講（番号 _____ ）
		<input type="checkbox"/> 受講 <input type="checkbox"/> 聴講（番号 _____ ）

* 6月18日（木）セミナー終了後の懇親会

参加

事務確認欄（事務確認欄は記入しないでください）

受付No	受付日	入金日	担当者	備考